BUFFALO

35012341-03

らくらくTVレコーダー ゼン録

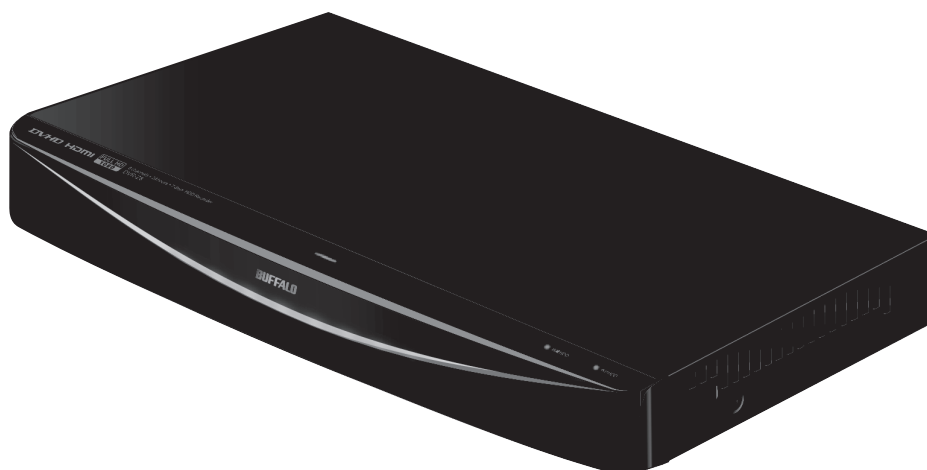
DVR-Z8 ユーザーズマニュアル

はじめに

まるっと全録を使用する

個別に録画する

本製品の設定

付録

本製品では、らくらく TV レコーダーの詳しい使いかたを案内しています。
お読みになった後は、大切に保管してください。

マニュアルは本書のほかに次のマニュアルが付属しています。

「らくらく！セットアップシート」・・・・・・・ 接続のしかた・はじめの準備を案内しています。
「基本操作ガイド」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 基本的なリモコン操作を案内しています。

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク

⚠注意 に続く説明文は、製品を取り扱う際に特に注意してすべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク

↘次へ に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

文中の用語表記

・文中［　］で囲んだ名称は、操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には当社製品だけでなく、当社製品を取り付けたテレビ全般に関する注意事項も記載されています。
テレビの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、当社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 危険	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重症を負う危険が差し迫って生じる可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味　△⃠●の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

△	警告・注意を促す内容を示します。（例：感電注意）
⃠	してはいけない事項（禁止事項）を示します。（例：分解禁止）
●	しなければならない行為を示します。（例：プラグをコンセントから抜く）

⚠ 危険

禁止

電池を取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 分解、改造しない。
- 電極の（＋）と（－）を針金等の金属で接続しない。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしない。
- 火の中に入れたり、過熱したりしない。
- 釘を刺したり、かなづちでたたいたり、踏みつけたりしない。

以上のことを守らないと、液漏れ･発熱、発火、破裂し、やけど・けがをする危険があります。

禁止

電池は乳幼児の手の届くところに置かないでください。

電池を誤って飲み込むと、窒息や中毒を起こす危険があります。特に小さなお子様のいるご家庭では、手の届かないところで保管・使用するなど、ご注意ください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 警告

禁止

電池を取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 分解・改造・修理・充電しない。
- 使用した電池と未使用の電池、種類の異なる電池、異なるメーカーの電池を混在して使用しない。
- 電極の（＋）と（－）を間違えて挿入しない。
- 消耗しきった電池を入れたままにしない。

以上のことを守らないと、液漏れ･発熱、発火、破裂し、やけど・けがをすることがあります。

禁止

電池内部の液が漏れたときは、液に触れないでください。

やけどの恐れがあります。もし、液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。

強制

電池を使用・交換するときは、指定の電池を使用してください。

指定以外の電池を使用すると、液漏れ・発熱・破裂し、やけど・けがをする恐れがあります。

⚠ 警告

本製品を取り付け、使用する際は、必ずテレビメーカーが提示する警告や注意指示に従ってください。

本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。

火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

AC100 V(50/60 Hz) 以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。

海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。

差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

電源ケーブルを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。

火災になったり、感電する恐れがあり、本製品の故障の原因ともなります。

- 設置時に、電源ケーブルを壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしないでください。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- 熱器具を近付けたり、加熱しないでください。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 極端に折り曲げないでください。
- 電源ケーブルを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源ケーブルが傷んだら、当社サポートセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

電気製品の内部やケーブル、コネクター類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする危険があります。

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

濡れた手で本製品に触れないでください。

電源ケーブルがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
当社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電や故障する恐れがあります。

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合はすぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。当社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。当社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させるおそれがあります。

電源ケーブル（または AC アダプター）、信号ケーブルは必ず本製品付属のものをお使いください。

本製品付属以外の電源ケーブル（内部接続用を含む）、AC アダプター、信号ケーブルをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 注意

本製品を長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。

電池の発熱や液漏れにより、火災やけが、周囲が汚れるなどの原因になります。

液漏れの発生した電池は使用しないでください。

そのまま使用を続けると、火災や感電の原因になります。当社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

⚠注意

強制

テレビおよび周辺機器の取り扱いは、各機器のマニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。

禁止

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やテレビに悪影響を及ぼすことがあります。

- 強い磁界、静電気が発生するところ
- 温度、湿度がテレビのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
- ほこりの多いところ　→故障の原因となります。
- 振動が発生するところ　→けが、故障、破損の原因となります。
- 平らでないところ　→転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
- 直射日光が当たるところ　→故障や変形の原因となります。
- 火気の周辺、または熱気のこもるところ　→故障や変形の原因となります。
- 漏電、漏水の危険があるところ　→故障や感電の原因となります。

強制

各接続コネクターのチリやほこり等は、取りのぞいてください。また、各接続コネクターには手を触れないでください。

故障の原因となります。

強制

本製品の上に物を置かないでください。

傷がついたり、故障の原因となります。

禁止

シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。

本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

禁止

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

【 mini B-CAS カードの取り扱い上のご注意 】

mini B-CAS カードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズから供給されたものを同梱しています。本製品の修理をご依頼いただく際は、製品と一緒に付属の mini B-CAS カードも BUFFALO 修理センターへお送りください。mini B-CAS カードは、デジタル放送を視聴していただくためのカードです。万が一、破損や紛失などした場合は、下記の B-CAS カスタマーセンターへご連絡ください。破損や紛失がお客様の原因で発生した場合は、再発行費用が請求されます。あらかじめご了承ください。

第三者がお客様のカードを使用して有料番組を視聴した場合でも、視聴料はお客様に請求されますので保管をする際にはご注意ください。

既に通常サイズの B-CAS カードで有料番組の契約をしていた場合、その契約を mini B-CAS カードに適用することはできません。新たに mini B-CAS カード用に契約をする必要があります。

mini B-CAS カードのお問い合わせ先
株式会社 ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
TEL：0570-000-250　（受付時間：10：00 ～ 20：00）

⚠注意
- mini B-CAS カードをセットするときは、向きに注意して確実に差し込んでください。また mini B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
- 本製品使用中は、mini B-CAS カードに触れたり、抜き差ししたりしないでください。
- mini B-CAS カードを折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしないでください。
- mini B-CAS カードの IC 金属端子には手を触れないでください。
- mini B-CAS カードの上に重いものを置いたり、踏みつけたりしなでください。
- mini B-CAS カードに水をかけたり、ぬれた手で触ったりしないでください。
- mini B-CAS カードを分解、加工をしないでください。

付属の mini B-CAS カードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズから供給されたものを同梱しています。また、本製品の修理をご依頼いただく際は、製品と一緒に付属の mini B-CAS カードも BUFFALO 修理センターへお送りください。

録画についてのご注意

■ハードディスクは、録画番組の恒久的な保存場所ではありません。ハードディスクは、非常に精密な機器で、お使いの環境や使用状況によっては、数年で寿命となることがあります。ハードディスクが故障すると、本製品への録画はもちろん、録画した番組の再生も行えなくなります。

■録画の失敗、および録画番組の消失については保証していません。

■本製品の動作中に、電源プラグを接続している電源タップのスイッチを「切」にしたり、停電など（雷などによる瞬間的な停電も含む）が起こると、本製品が故障したり、本製品に録画した内容が消失・破損することがあります。また、まるっと全録が停止した後、10 時間以上経過すると、まるっと全録を再開する際に今までまるっと全録で録画した番組はすべて消去されます。再開する前に大切な番組は内蔵ハードディスクまたは外付けハードディスクへダビングしてください。

■まるっと全録で録画中、個別に録画中、ダビング中、ムーブ中、削除中、ハードディスク初期化中は絶対に AC アダプターを取り外さないでください。取り外すと故障する恐れがあります。

■メニュー画面に表示の録画可能時間は、参考時間です。

■本製品の修理をご依頼いただいた場合、修理内容によっては、製品を交換する場合またはディスクをフォーマットする場合があります。
この場合、録画内容はすべて消去いたします。また、当社は当該データの破損消失などにつき、一切の責任を負いません。

■地デジチャンネル変更（リパック）に伴う再設定について
お住まいの地域で地デジチャンネル変更 (リパック) が実施された場合、番組の受信や録画が行えなくなります。その際はチャンネルの再設定 (チャンネルスキャン) を行う必要があります。
チャンネルスキャンを実行すると、まるっと全録で録画した番組はすべて消去されます。
変更する前に大切な番組は内蔵ハードディスクまたは外付けハードディスクにダビングしてください。

※地デジチャンネル変更 (リパック) の詳細および変更が予定されている地域､実施日程につきましては､下記の総務省テレビ受信者支援センター (デジサポ) ホームページにてご確認ください。

総務省テレビ受信者支援センター (デジサポ)

http://digisuppo.jp/repack/

■まるっと全録を停止後、10 時間以上経過すると、まるっと全録を再開する際に今までまるっと全録で録画した番組はすべて消去されます。再開する前に大切な番組は内蔵ハードディスクまたは外付けハードディスクへダビングしてください。
※リモコンの [メニュー] ボタンを押し､[設定] → [まるっと全録設定] → [まるっと全録停止] でまるっと全録を停止した際に「次回再開したときに､まるっと全録で録画された番組はすべて消去されます｡」と表示されますが、10 時間以上経過する前にまるっと全録を開始した場合はまるっと全録で録画された番組はすべて消去されずに最後の録画時刻より追記されます。
※まるっと全録の停止期間を含めて、約 3 ヶ月前までの番組視聴に対応しています。
※まるっと全録の停止により冒頭部分が欠けた番組は、番組表やまるっと全録ジャンル検索、方向キーによる再生が失敗することがあります。そのようなときは、前後の番組より早送りや早戻しを行って再生してください。

■放送延長が発生した場合でのご注意
・放送延長が発生した場合、番組表で選択した番組と視聴する番組が異なることがあります。
・放送延長の発生などで放送時間が変更された場合、意図した番組が録画できないことがあります。

著作権について

あなたが録音・録画したものは、あなたが個人として楽しむ以外は、著作権等の権利者に無断で使用することはできません。録音・録画したものを、権利者の許諾なく、複製・改変・販売・譲渡・貸与・上演・上映したり、インターネットで送信・掲示したりすることは、著作権法で禁止されています。

目次

はじめに

まるっと全録を使用する

個別に録画する

本製品の設定

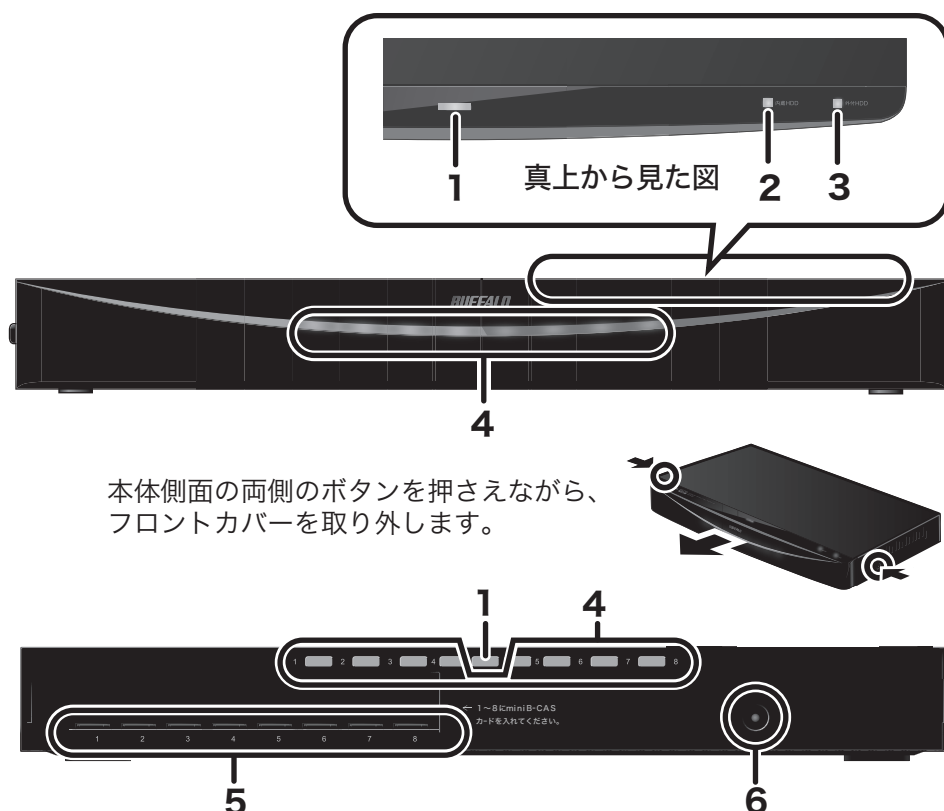
付録

はじめに

本製品を使用する前に知っておいていただきたいことを説明します。

各部の名前と機能

本体およびリモコンの、各部の名前と機能を説明します。

本体前面

1. 電源ランプ

緑色点灯：電源 ON の状態
黄色点灯：本製品についてのお知らせがあります。リモコンの [メニュー] ボタンを押し、[お知らせ] から内容を確認してください。
赤色点灯：電源 OFF(待機状態)
赤色点滅：起動エラー (AC アダプターを接続しなおしても赤色点滅するときは、当社修理センターに修理をご依頼ください。)
消灯：AC アダプターを接続していない状態

2、3. 内蔵 / 外付け HDD 残量ランプ

ハードディスクの空き容量を知ることができます。
ハードディスク未接続時：消灯
空き容量 50% 以上：緑色点灯
空き容量 10 ～ 50%：黄色点灯
空き容量 10% 未満：赤色点灯

※内蔵 HDD 残量ランプは、残しておきたい番組を保存する専用領域の空き容量の表示となります。

4. まるっと全録ランプ

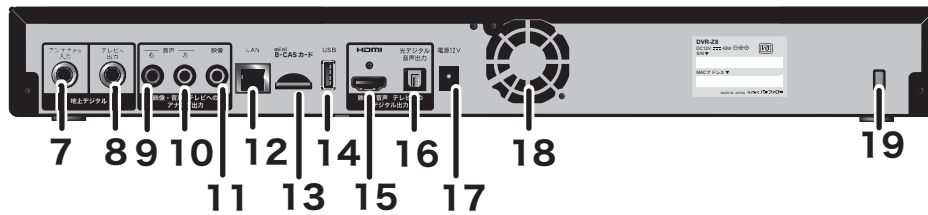
青色点灯：
まるっと全録で録画中の状態
※まるっと全録で録画していないチューナーのランプは消灯します。
中央部分が紫色に点灯：
まるっと全録停止中の状態
中央部分が赤色に点灯：
まるっと全録停止中に電源 OFF(待機状態) にした状態。
消灯：
まるっと全録で録画中に電源 OFF(待機状態) にした状態

5. mini B-CAS カード挿入口 1 ～ 8

まるっと全録用のカード挿入口です。付属の mini B-CAS カードのうち、8 枚を 1 ～ 8 に挿入します。

6. リモコン受光部

リモコン信号の受光部です。
※前に物を置くなど、信号を遮らないでください。

本体背面

7. アンテナ入力端子

地上デジタル放送対応のアンテナと接続します。市販のＦ型コネクターアンテナケーブルを別途ご用意ください。

8. アンテナ出力端子

テレビのアンテナ入力端子にもアンテナを接続したいときは、本製品背面のアンテナ出力端子 [テレビへ出力] とテレビをアンテナケーブルで接続してください。アンテナケーブルは別途ご用意ください。

※アンテナ入力端子に地デジ /BS・110 度 CS 混合アンテナを接続した場合でもアンテナ出力からは地デジの信号のみが出力されます。

9. アナログ音声端子（右：赤）

付属のビデオ / オーディオケーブルを接続します。

10. アナログ音声端子（左：白）

付属のビデオ / オーディオケーブルを接続します。

11. アナログ映像端子
（コンポジットビデオ出力（黄））

付属のビデオ / オーディオケーブルを接続します。

12. LAN 端子

ネットワークを使って本製品のソフトウェアを更新するには、LAN ケーブルで本製品をインターネットに接続された機器 (ルーター / ハブ) に接続する必要があります。LAN ケーブルを別途ご用意ください。

13. mini B-CAS カード挿入口

個別録画用のカード挿入口です。付属の mini B-CAS カードのうち、1 枚を挿入します。

こちらに差し込んだ mini B-CAS カードが代表カードとして認識されます。代表カードは放送視聴、個別に録画する場合と番組表の取得に使用します。

14. USB 端子

USB 接続ハードディスクを増設する場合に使用します。この場合、USB 接続ハードディスクは別途ご用意ください。

15. HDMI 端子

テレビと本製品を HDMI ケーブルで接続する際に使用します。HDMI ケーブルは別途ご用意ください。

16. デジタル音声端子 (角型)

市販の光デジタルケーブルを接続することができます。光デジタルケーブルは別途ご用意ください。

17. 電源端子

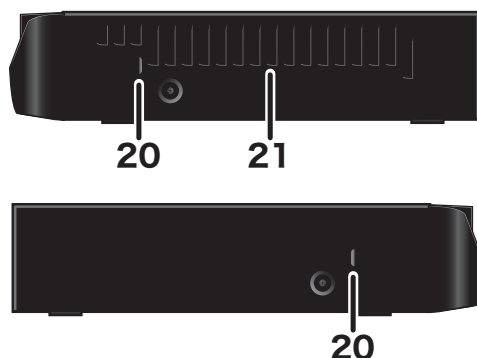
付属の AC アダプターを接続します。

18. ファン

※ファンを塞ぐような設置はしないでください。

19. 盗難防止用セキュリティースロット

市販のワイヤーロックなどで固定することができます。

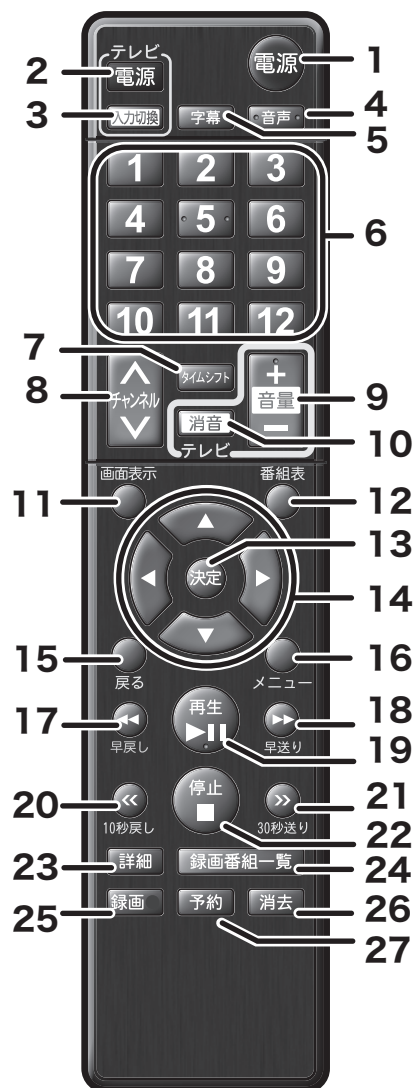
本体側面

20. ボタン

左右側面にあるボタンを押さえながら前面のフロントカバーを取り外します。

21. 通風口

※通風口を塞ぐような設置はしないでください。

リモコン

メモ　本書に記載された操作以外にも画面によってはリモコンのボタンに機能が割り当てられていることがあります。この場合、各画面に表示されている案内をご確認ください。

1.　電源

本製品の電源を入 / 切します。

2.　電源 (テレビ)

テレビの電源を入 / 切します。

あらかじめ別紙「らくらく！セットアップシート」うら面の「リモコンでテレビを操作できるように設定する」を参照して設定を完了させてください。

3.　入力切換 (テレビ)

テレビを外部入力 (ビデオ 1、ビデオ 2、HDMI など) に切り換えます。

あらかじめ別紙「らくらく！セットアップシート」うら面の「リモコンでテレビを操作できるように設定する」を参照して設定を完了させてください。

4.　音声

音声出力を切り換えます (第一音声：主→第一音声：副→第一音声：主＋副→第二音声：主→第二音声：副→第二音声：主+副→・・・)。

※番組で放送している音声のみ切り換えることができます。

※モノラル放送、ステレオ放送、サラウンド放送の場合、「第一音声：主」と表示され、切り換えることはできません。

5.　字幕

字幕の表示を切り換えます（日本語→英語→なし）。字幕放送に対応していない番組では、字幕ボタンを押しても字幕は表示されません。また、字幕の表示には、ボタンを押してから 3 秒程度時間がかかることがあります。ボタンを押してから字幕が表示されるまでしばらくお待ちください。

6.　数字キー

チャンネルを切り換えます。

設定メニューで数値を入力する際に使用します。

※数字の「0」(ゼロ) を入力する場合は、[10] を押します。

※同じ数字のボタンをもう一度押すとサブチャンネルの切り換えをすることができます。サブチャンネルとは、放送局がハイビジョン放送 1 番組の代わりに標準画質放送を同時に複数番組 (2 〜 3 番組) 放送するチャンネルのことです。

7.　タイムシフト

現在視聴している番組を現在の時刻からタイムシフト再生します。見逃したシーンを早戻して見たり、気に入ったシーンを繰り返し見たり、一時停止したりすることができます。

※タイムシフト再生とは、視聴番組を録画しながら再生する機能のことです。まるっと全録で録画中またはまるっと全録で録画した番組がある場合に動作します。

8.　チャンネル上 / 下ボタン

チャンネルを切り換えます。ジャンル検索結果、録画番組一覧、予約番組一覧などの画面では、ページを切り換えます。

9.　音量 (テレビ)

テレビの音量を調整します。

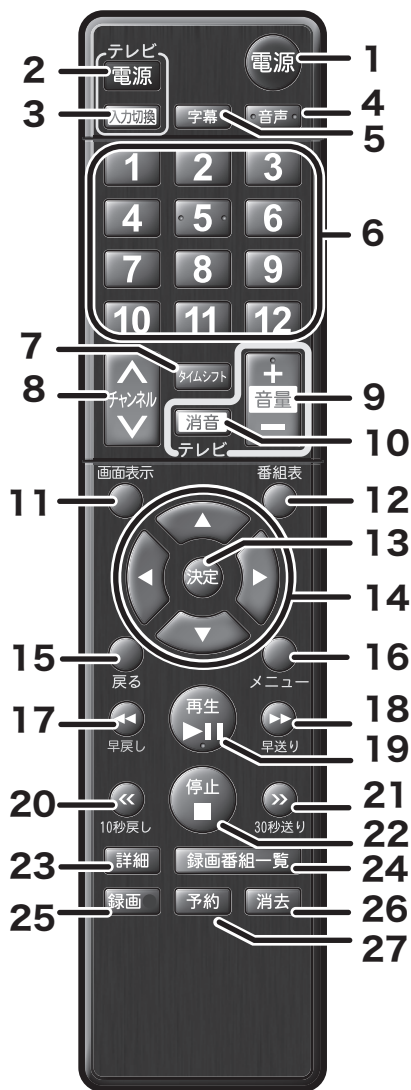
あらかじめ別紙「らくらく！セットアップシート」うら面の「リモコンでテレビを操作できるように設定する」を参照して設定を完了させてください。

10. 消音 (テレビ)

テレビの音声を消音する / しないを切り換えます。

あらかじめ別紙「らくらく！セットアップシート」うら面の「リモコンでテレビを操作できるように設定する」を参照して設定を完了させてください。

11. 画面表示

番組情報や再生、録画の状態の表示 / 非表示を切り換えます。

12. 番組表
番組表の表示 / 非表示を切り換えます。

13. 決定
選択した項目を決定します。

14. 方向キー
カーソルを移動します。
個別で録画した番組を再生中の場合、[左] を押すと前の録画番組にスキップします。[右] を押すと次の録画番組にスキップします。
タイムシフト再生中の場合、[右] を押すと次の番組にスキップします。
[左] を押すと番組先頭から 15 秒未満の場合は前の番組にスキップ、15 秒以上経過していたときは、番組の先頭に戻ります。

15. 戻る
前の画面に戻ります。

16. メニュー
メニュー画面を表示します。

17. 早戻し
再生中の録画番組を早戻しします (7 段階)。
番組表の日付を戻します。

18. 早送り
再生中の録画番組を早送りします (8 段階)。
番組表の日付を進めます。

19. 再生 / 一時停止
選択した番組を再生します。もう一度押すと一時停止になります。

20. 10 秒戻し
再生中の番組を 10 秒早戻しします。

21. 30 秒送り
再生中の番組を 30 秒早送りします。
一覧画面で消去やダビングなどの操作をするとき、番組の選択に使用します（チェックマークの表示 / 非表示を切り換えます)。

22. 停止
再生、録画、早送り、早戻しを停止します。
録画番組一覧で表示する録画番組を [内蔵ハードディスク] または [外付けハードディスク] に切り換えます。
番組表画面でサブチャンネルの表示 / 非表示を切り換えます。

23. 詳細
番組の詳細情報を表示します。

24. 録画番組一覧
録画番組の一覧を表示します。

25. 録画
視聴中の番組を録画します。

26. 消去
録画番組や予約を消去します。

27. 予約
予約番組の一覧を表示します。

接続および初期設定

接続および初期設定の手順は、別紙の「らくらく！セットアップシート」をご参照ください。

AC アダプターを取り外すときは

本製品初期設定後 (まるっと全録で録画中、個別録画中、ダビング中、ムーブ中、削除中、ハードディスク初期化中) は、常に内蔵ハードディスクの電源が入っている状態となります。内蔵ハードディスクアクセス中に AC アダプターを取り外すと、故障する恐れがあります。

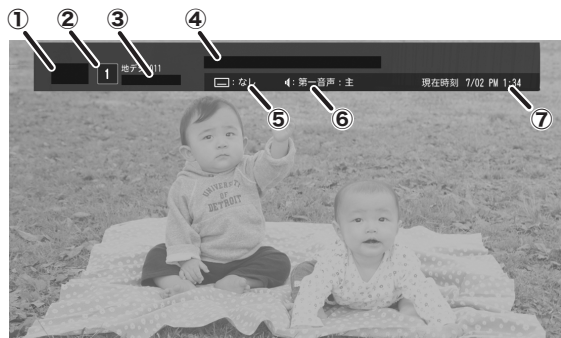
個別録画・まるっと全録を必ず停止し、リモコンの [電源] ボタンを押して電源ランプの赤色点灯を確認してから取り外してください。

個別録画はリモコン [停止] ボタンで停止できます。

まるっと全録は、リモコンの [メニュー] ボタンを押し、[設定] → [まるっと全録設定] → [まるっと全録停止] で停止できます。

画面解説

番組視聴時

リモコンの [画面表示] ボタンを押すと、画面上部に視聴している番組情報が表示されます。

①	チャンネルロゴ
②	チャンネル番号
③	チャンネル名
④	番組名、番組情報
⑤	字幕の状態　「日本語」「英語」「なし」
⑥	音声出力の状態　「第一音声：主」「第一音声：副」「第一音声：主＋副」「第二音声：主」「第二音声：副」「第二音声：主＋副」
⑦	現在の時刻を表示します。

個別に録画中

リモコンの [画面表示] ボタンを押すと、画面上部に録画している番組情報が表示されます。

①	「録画中」と表示されます。

タイムシフト再生中

リモコンの [画面表示] ボタンを押すと、画面上部に再生している番組情報、画面下部に操作パネルが表示されます。

①	「タイムシフト」と表示されます。まるっと全録で録画中は赤色に、停止中はグレー色に表示されます。
②	タイムシフトとして録画したときの時刻を表示します。
③	リモコンの [<<] ボタンを押すと 10 秒早戻しします。
④	リモコンの [早戻し] ボタンを押すと早戻しします。
⑤	リモコンの [再生 / 一時停止] ボタンを押すと一時停止します。もう一度押すと一時停止を解除します。
⑥	リモコンの [早送り] ボタンを押すと早送りします。
⑦	リモコンの [>>] ボタンを押すと 30 秒早送りします。

録画番組一覧の番組を再生中

リモコンの [画面表示] ボタンを押すと、画面上部に再生している番組情報、画面下部に操作パネルが表示されます。

①	「再生」と表示されます。
②	個別に録画したときの時刻を表示します。
③	リモコンの [<<] ボタンを押すと 10 秒早戻しします。
④	リモコンの [早戻し] ボタンを押すと早戻しします。
⑤	リモコンの [再生 / 一時停止] ボタンを押すと一時停止します。もう一度押すと一時停止を解除します。
⑥	リモコンの [早送り] ボタンを押すと早送りします。
⑦	リモコンの [>>] ボタンを押すと 30 秒早送りします。

まるっと全録を使用する

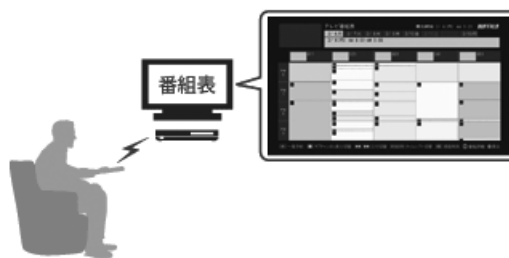
まるっと全録の使いかたについて説明します。

「まるっと全録」とは

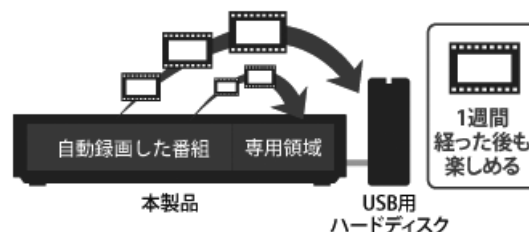
「まるっと全録」とは、8 チャンネル分の地上デジタル放送を最大 8 日間自動で録画する機能です。
番組録画予約の操作をすることなくいつでも好きな時に過去の番組を自由に視聴することができます。

※録画するチャンネル数によっては、8 日以上録画することができます。【P.23 】

番組表から、現在放送している番組を選ぶときと同じ要領で、過去にさかのぼって番組視聴を楽しめます。

メモ
・サブチャンネルでのみ放送されている番組は、「まるっと全録」では録画されません。
・番組延長が発生した場合、予約した番組や番組表と異なる番組が録画・再生されることがあります。
・空き容量がなくなった場合、古い番組から順に消去されます。

自動録画された番組の中に残しておきたい番組があるときは、内蔵ハードディスクの専用領域または USB 用外付けハードディスクにダビングして保存できます。

注意 **ダビングは 8 回まで行うことができます。9 回目以降のダビング・ムーブを行うことはできません。**

残しておきたい番組をダビング

注意 **まるっと全録を停止後、10 時間以上経過すると、まるっと全録を再開する際に今までまるっと全録で録画した番組はすべて消去されます。再開する前に大切な番組は内蔵ハードディスクまたは外付けハードディスクへダビングしてください。**
※リモコンの [メニュー] ボタンを押し、[設定] → [まるっと全録設定] → [まるっと全録停止] でまるっと全録を停止した際に「次回再開したときに、まるっと全録で録画された番組はすべて消去されます。」と表示されますが、10 時間以上経過する前にまるっと全録を開始した場合はまるっと全録で録画された番組はすべて消去されずに最後の録画時刻より追記されます。
※まるっと全録の停止期間を含めて、約 3 ヶ月前までの番組視聴に対応しています。
※まるっと全録の停止により冒頭部分が欠けた番組は、番組表やまるっと全録ジャンル検索、方向キーによる再生が失敗することがあります。そのようなときは、前後の番組より早送りや早戻しを行って再生してください。

まるっと全録の準備

本製品の初期設定画面で下記の項目を設定してください。詳しくは別紙の「らくらく！セットアップシート」および P.31 をご参照ください。

- 録画するチャンネルの選択
- 録画する番組の画質
- 「まるっと全録を開始しますか？」と表示されたら、[はい] を選択

メモ　上記項目を設定しなかった場合、下記設定画面から設定することができます。
視聴画面でリモコンの [メニュー] ボタンを押し、表示されたメニューから [設定]-[まるっと全録設定] を選択します。

番組表から過去の番組を見る

次の手順で過去の番組表からお好きな番組を再生することができます。

1　リモコンの [番組表] ボタンを押します。番組表が表示されます。

2　リモコンの方向キーで青色の 録 マークが表示されている見たい番組を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

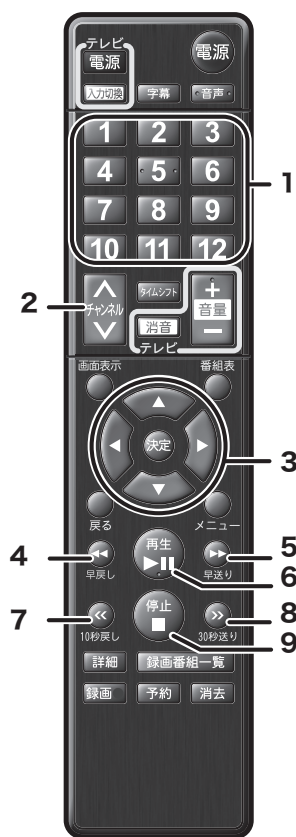
メモ　番組表に表示している日付を切り換えるときは、リモコンの [早戻し] または [早送り] ボタンを押してください。

3　[再生する] を選択し､リモコンの[決定] ボタンを押します。
選択した番組が再生されます。
再生を停止したいときは、リモコンの [停止] ボタンを押してください。

メモ　番組表で番組選択後、[再生] ボタンで再生を開始することもできます。

以上で番組表からの再生は完了です。

番組表から過去の番組を見ているときにチャンネルを変更すると、見ている番組と同時刻に放送されていた番組に切り換わります。

番組表から過去の番組を視聴中のリモコン操作

1.　数字キー

見ている番組と同時刻に放送されていた番組に切り換えます。

2.　チャンネル上 / 下ボタン

見ている番組と同時刻に放送されていた番組に切り換えます。

3.　方向キー

[右] を押すと次の番組にスキップします。[左] を押すと番組先頭から 15 秒未満の場合は前の番組にスキップ、15 秒以上経過していたときは、番組の先頭に戻ります。

4.　早戻し　早戻しします (7 段階)。

5.　早送り　早送りします (8 段階)。

6.　再生 / 一時停止　一時停止します。もう一度押すと再生します。

7.　10 秒戻し　10 秒早戻しします。

8.　30 秒送り　30 秒早送りします。

9.　停止　タイムシフト再生、早送り、早戻しを停止し、前の画面に戻ります。

はじめに
まるっと全録を使用する
個別に録画する
本製品の設定
付録

タイムシフト再生で番組を見る

現在視聴している番組を現在の時刻からタイムシフト再生します。見逃したシーンを巻き戻して見たり、気に入ったシーンを繰り返し見たり、一時停止したりすることができます。

※本製品でタイムシフト再生とは、まるっと全録で録画した番組を再生する機能のことです。

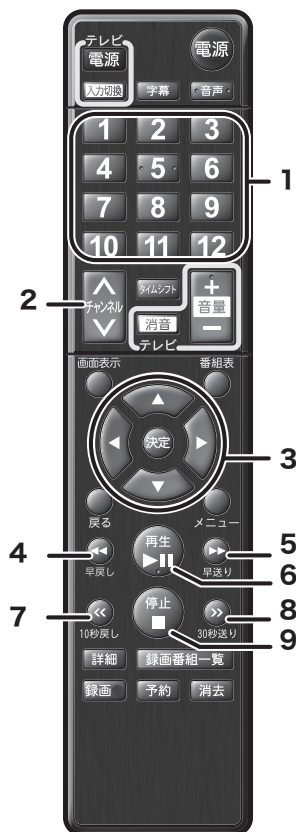
1　番組視聴中にリモコンの [タイムシフト] ボタンを押します。

2　タイムシフト再生で番組が表示されます。

メモ　タイムシフト再生を停止したいときは、リモコンの [停止] ボタンを押してください。

以上でタイムシフト再生は完了です。

番組表から過去の番組を見ているときにチャンネルを変更すると、見ている番組と同時刻に放送されていた番組に切り換わります。

タイムシフト再生中のリモコン操作

1.　数字キー

見ている番組と同時刻に放送されていた番組に切り換えます。

2.　チャンネル上 / 下ボタン

見ている番組と同時刻に放送されていた番組に切り換えます。

3.　方向キー

[右] を押すと次の番組にスキップします。[左] を押すと番組先頭から 15 秒未満の場合は前の番組にスキップ、15 秒以上経過していたときは、番組の先頭に戻ります。

4.　早戻し　早戻しします (7 段階)。

5.　早送り　早送りします (8 段階)。

6.　再生 / 一時停止　一時停止します。もう一度押すと再生します。

7.　10 秒戻し　10 秒早戻しします。

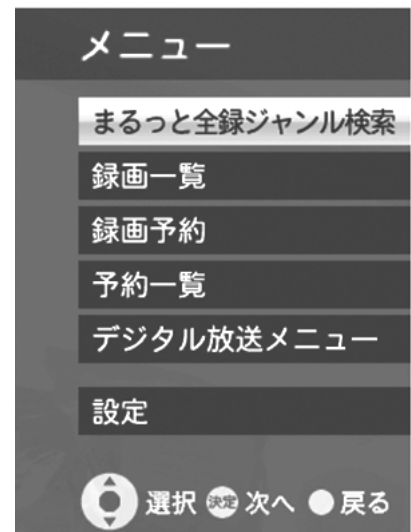
8.　30 秒送り　30 秒早送りします。

9.　停止　タイムシフト再生、早送り、早戻しを停止し、前の画面に戻ります。

見たいジャンルを検索して見る

次の手順で過去の番組表からジャンルを検索してお好きな番組を再生することができます。

1　リモコンの [メニュー] ボタンを押します。

2　表示されたメニューから [まるっと全録ジャンル検索] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。
録画ジャンル一覧が表示されます。

3　見たいジャンルを選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。
選択したジャンルの番組一覧が表示されます。

4　見たい番組を選択し､リモコンの［決定］ボタンを押します。
選択した番組が再生できます。
再生を停止したいときは、リモコンの [停止] ボタンを押してください。

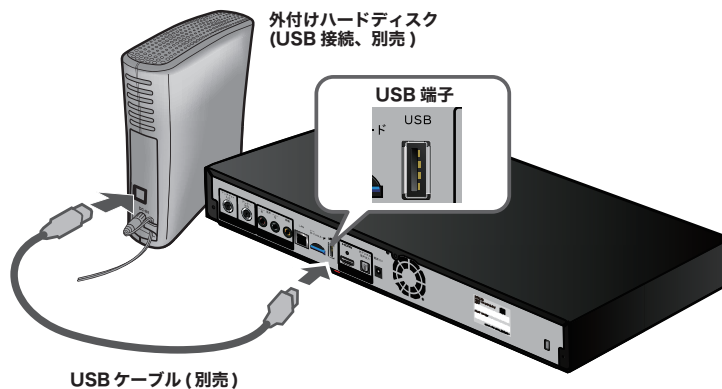
以上で見たいジャンルを検索しての再生は完了です。

リモコンの左右キーで表示しているジャンルを切り換えることができます。

リモコンのチャンネル上 / 下ボタンで一覧のページを切り換えることができます。

外付けハードディスクを増設する

本製品の USB 端子には外付けハードディスクを 1 台増設することができます。次の手順で本製品の USB 端子に外付けハードディスク (USB 接続タイプ。容量 2 TB まで対応) を増設してください。
外付けハードディスクに個別に録画したり、内蔵ハードディスクの録画番組を外付けハードディスクへムーブしたりすることができます。

⚠注意　外付けハードディスクにダビングできるのは、まるっと全録で録画した番組のみです。内蔵ハードディスクに個別に録画した番組や内蔵ハードディスクにダビングした番組は外付けハードディスクにムーブすることができます。【P.30 】

対応のハードディスクについては、当社ホームページ（buffalo.jp）で確認してください。

ハードディスクはあらかじめ次の手順で初期化をしてください。

1　リモコンの [メニュー] ボタンを押します。

2　表示されたメニューから [設定] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

3　[初期化] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

4　[外付けハードディスク] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

5　[はい] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

6　再度、[はい] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

メモ
- 初期化を行うと外付けハードディスク内のデータはすべて消去されます。大切なデータはあらかじめバックアップを行ってください。
- 初期化には数分かかります。
- 個別に録画する番組を外付けハードディスクに録画するようにしたい場合は、設定画面の [機器設定]-[録画先設定] で [外付けハードディスク] を選択してください。

⚠注意
- **まるっと全録の録画先に外付けハードディスクを設定することはできません。**
- **USB ハブには対応していません (2 台以上の外付けハードディスクを同時に接続して使用することはできません)。**
- **外付けハードディスクを取り外すときは、設定画面の [機器設定]-[外付けハードディスクの取り外し] で取り外し処理を行ってから取り外してください。**

以上で外付けハードディスクの増設は完了です。

番組表からハードディスクへ個々にダビングする

まるっと全録で録画した番組を次の手順で個々にダビングすることができます。

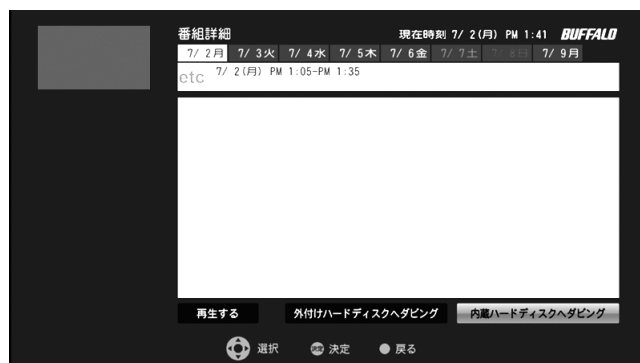
⚠注意
- **ダビングは８回まで行うことができます。９回目以降のダビング・ムーブを行うことはできません。**
- **個別録画中または予約録画中は、ダビングはできません。**
- **ダビング中は他の操作をすることができません。**

1　リモコンの [番組表] ボタンを押します。番組表が表示されます。

2　ダビングしたい番組を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

メモ　番組表に表示している日付を切り換えるときは、リモコンの [早戻し] または [早送り] ボタンを押してください。

3　[内蔵ハードディスクへダビング] または [外付けハードディスクへダビング] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

4　[はい] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。
ダビングが開始されます。

⚠注意　ダビングが完了するまでそのままの状態でお待ちください。
- ダビング中に予約録画が開始されたときは、処理が中止されます。予約録画完了後、ダビング未完了の番組のダビングをやり直してください。
- １時間の番組のダビング時間のめやすは、次の通りです。
  低画質：約５～７分　中画質：約９～ 11 分　高画質：約 13 ～ 15 分

5　リモコンの [録画番組一覧] を押し、録画番組一覧にダビングした番組があることを確認してください。
ダビングした番組を再生する場合、見たい番組を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください。

メモ　リモコンのチャンネル上 / 下ボタンで一覧のページを切り換えることができます。

以上でダビングは完了です。

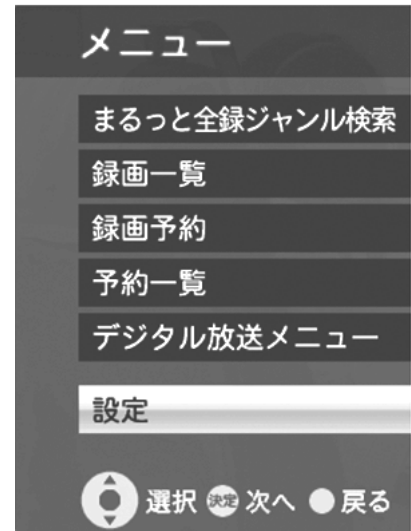
番組表からハードディスクへまとめてダビングする

まるっと全録で録画した番組を次の手順でまとめてダビングすることができます。

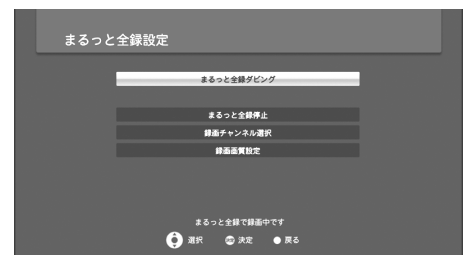
⚠注意
- **ダビングは８回まで行うことができます。９回目以降のダビング・ムーブを行うことはできません。**
- **個別録画中または予約録画中は、ダビングはできません。**
- **ダビング中は他の操作をすることができません。**

1 リモコンの [メニュー] ボタンを押します。

2 表示されたメニューから [設定] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。
設定画面が表示されます。

3 [まるっと全録設定] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

4 [まるっと全録ダビング] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

5 ダビング先のハードディスクを選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

6 リモコンの［決定］ボタンを押します。

7 青色の 録 マークが表示されている番組の中からダビングしたい番組を選択 (100 番組まで選択することができます) し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

8 リモコンの［再生 / 一時停止］ボタンを押します。

9 ダビングする番組の一覧が表示されます。番組名を確認し、リモコンの［決定］ボタンを押します。
ダビングが開始されます。

⚠注意 **ダビングが完了するまでそのままの状態でお待ちください。**

- ダビング中に予約録画が開始されたときは、処理が中止されます。予約録画完了後、ダビング未完了の番組のダビングをやり直してください。
- ダビングする番組の数が多いときや合計の時間が長いときは、処理に大変時間がかかることがあります。
  ＜ 1 時間の番組のダビング時間のめやす＞
  低画質：約５～７分　中画質：約９～ 11 分　高画質：約 13 ～ 15 分

10 [はい] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

11「ダビングが完了しました。」と表示されたらダビングは完了です。
リモコンの［決定］ボタンを押します。

12 リモコンの [録画番組一覧] を押し、録画番組一覧にダビングした番組があることを確認してください。
ダビングした番組を再生する場合、見たい番組を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください。

メモ リモコンのチャンネル上 / 下ボタンで一覧のページを切り換えることができます。

以上でダビングは完了です。

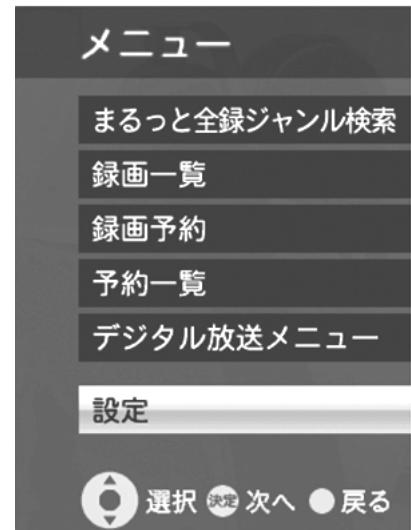
録画チャンネルを変更する

次の手順でまるっと全録で録画するチャンネルを変更することができます。

録画チャンネルを変更すると、まるっと全録で録画した番組はすべて消去されます。変更する前に大切な番組は内蔵ハードディスクまたは外付けハードディスクにダビングしてください。

⚠注意
- **まるっと全録で録画しているとき、個別に録画しているときは、録画チャンネルを変更することはできません。録画を停止してから録画チャンネルを変更してください。**
- **まるっと全録設定で録画チャンネルに設定していないチャンネルは、テレビの視聴、および個別録画もできません。**

1　リモコンの [メニュー] ボタンを押します。

2　表示されたメニューから [設定] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。
設定画面が表示されます。

3　[まるっと全録設定] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

メモ　画面に [まるっと全録で録画中です] と表示されているときは、録画チャンネルを変更できません。大切な番組は内蔵ハードディスクまたは外付けハードディスクへダビングし、[まるっと全録停止] を選択してください。

4　[録画チャンネル選択] を選択し､リモコンの［決定］ボタンを押します。

5　変更したい番号を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

6　録画したいチャンネルを選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

7　[設定する] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

メモ　まるっと全録による録画を開始する場合は、[まるっと全録開始] を選択してください。

以上で録画チャンネルの変更は完了です。

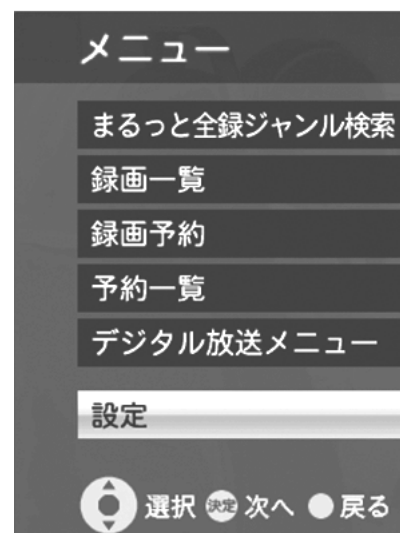
録画画質を変更する

次の手順でまるっと全録で録画する録画画質を変更することができます。

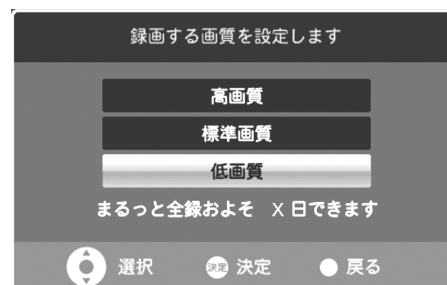
録画画質を変更すると、まるっと全録で録画した番組はすべて消去されます。変更する前に大切な番組は内蔵ハードディスクまたは外付けハードディスクにダビングしてください。

⚠注意 **まるっと全録で録画しているときは、録画画質を変更することはできません。まるっと全録での録画を停止してから録画画質を変更してください。**

1 リモコンの [メニュー] ボタンを押します。

2 表示されたメニューから [設定] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。
設定画面が表示されます。

3 [まるっと全録設定] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

メモ 画面に [まるっと全録で録画中です] と表示されているときは、録画画質を変更できません。大切な番組は内蔵ハードディスクまたは外付けハードディスクへダビングし、[まるっと全録停止] を選択してください。

4 [録画画質設定] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

5 録画画質を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

メモ 次の画質を選択することができます。

- **高画質**
  約 6 Mbps です。8 チャンネルを録画する場合、2.7 日間 (64 時間) 分録画することができます。
- **標準画質**
  約 4 Mbps です。8 チャンネルを録画する場合、4 日間分録画することができます。
- **低画質**
  約 2 Mbps です。8 チャンネルを録画する場合、8 日間分録画することができます。

録画画質と録画チャンネル数による録画可能日数のめやす

録画 ch 数	高画質 (約 6Mbps)	標準画質 (約 4Mbps)	低画質 (約 2Mbps)
8ch	2.7 日	4 日	8 日
7ch	3 日	4.5 日	9 日
6ch	3.6 日	5 日	10 日
5ch	4.3 日	6 日	12 日
4ch	5.4 日	8 日	16 日
3ch	7 日	10 日	21 日
2ch	11 日	16 日	32 日
1ch	21 日	32 日	64 日

メモ まるっと全録による録画を開始する場合は、[まるっと全録開始] を選択してください。

以上で録画画質の変更は完了です。

個別に録画する

まるっと全録とは別に個別に録画する手順について説明します。

⚠注意 ・個別に録画中、視聴しているチャンネルを切り換えることはできません。ただし、まるっと全録で録画しているときは、リモコンの [タイムシフト] ボタンを押した後にタイムシフトでの再生をチャンネルボタンで切り換えることができます。

・番組の視聴、および個別録画は、まるっと全録設定で録画チャンネルに設定しているチャンネルのみ行うことができます。まるっと全録でチャンネル設定していないチャンネルは、視聴や個別に録画することができませんので、設定時にご注意ください。

メモ ・工場出荷時の録画先は内蔵ハードディスクに指定されています。録画先を外付けハードディスクに変更する場合は、外付けハードディスクを接続後、リモコンの [メニュー] ボタンを押し、[設定] → [機器設定] → [録画先設定] で指定してください。

・内蔵ハードディスクに個別録画できる時間は、リモコンの [メニュー] ボタンを押し、[設定] → [機器設定] → [録画可能時間] で確認することができます。

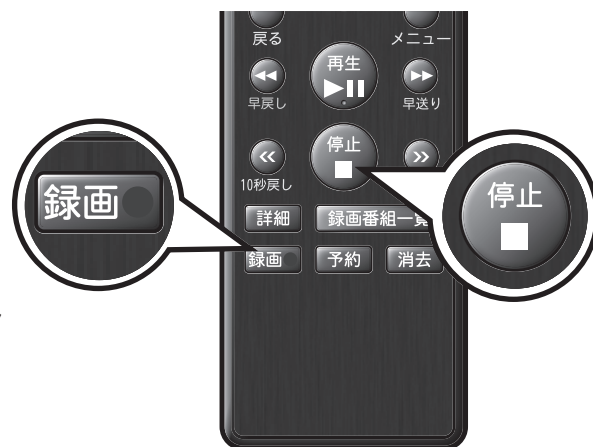
・個別録画はデジタル放送をそのままの画質で録画します。

視聴中の番組を録画する

視聴中の番組を録画するときは、次の手順で行います。

1 録画したい番組を視聴します。

2 リモコンの [録画] ボタンを押します。
録画が開始されます。

録画を停止したいときは、[停止] ボタンを押してください。

⚠注意 録画中に番組が終了し、次の番組が開始されても録画は停止されません。[停止] ボタンを押すまで録画は続行されます。

メモ 録画中に [再生] ボタンを押すと録画中の番組を追っかけ再生できます。追っかけ再生を終了するときは [停止] ボタンを押してください。この際、録画は停止しません。もう一度 [停止] ボタンを押すと録画は停止します。

本製品での追っかけ再生とは、個別録画中の番組を再生する機能のことです。それに対し、本製品でのタイムシフト再生とは、まるっと全録で録画している番組を再生する機能のことです。

番組表から予約する

番組表から番組を予約するときは、次の手順で行います。

1　リモコンの [番組表] ボタンを押します。番組表が表示されます。

2　予約したい番組を選択し、リモコンの [録画] ボタンを押します。

⚠注意　放送延長の発生などで放送時間が変更された場合、意図した番組が録画できないことがあります。

メモ
- 番組表に表示している日付を切り換えるときは、リモコンの [早戻し] または [早送り] ボタンを押してください。
- メインチャンネル / サブチャンネルを切り換えるときは、リモコンの [停止] ボタンを押してください。
- 現在放送中の番組を選択した場合、番組の途中から番組の終了まで録画されます。
- 予約した番組には、番組表中に赤い 録 マークが表示されます。

メモ　**予約した番組を毎週予約・毎日予約へ設定を変更する**

1. 本ページに記載の手順で録画予約を行います。
2. 視聴画面表示時にリモコンの [予約] ボタンを押し、予約番組一覧を表示させます。
3. 変更したい予約を選択し、[決定] ボタンを押します。
4. 予約日を選択し、リモコンの左ボタンを数回押して、毎週予約、毎日予約に変更します。【P.27 】

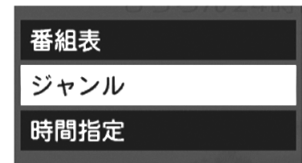
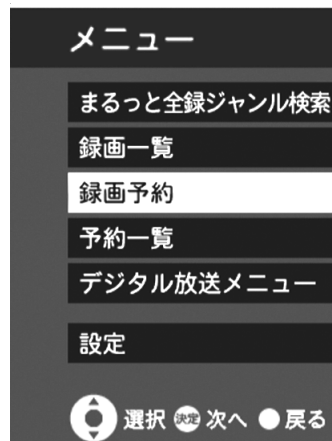
以上で番組表からの予約は完了です。

ジャンルから検索して予約する

ジャンルから検索して予約するときは、次の手順で行います。

1 リモコンの [メニュー] ボタンを押します。

2 表示されたメニューから [録画予約] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

3 [ジャンル] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。
ジャンル一覧が表示されます。

4 見たいジャンルを選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。
選択したジャンルの番組一覧が表示されます。

5 予約したい番組を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

6 番組詳細画面で、リモコンの［決定］ボタンを押します。

⚠注意 放送延長の発生などで放送時間が変更された場合、意図した番組が録画できないことがあります。

メモ
- 予約した番組には 録 マークが表示されます。
- 現在放送中の番組を選択した場合、番組詳細画面で [録画する] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押してください。番組の途中から番組の終了まで録画されます。

リモコンの左右キーで表示しているジャンルを切り換えることができます。

リモコンのチャンネル上 / 下ボタンで一覧のページを切り換えることができます。

以上でジャンルから検索しての予約は完了です。

メモ 予約した番組を毎週予約・毎日予約へ設定を変更する

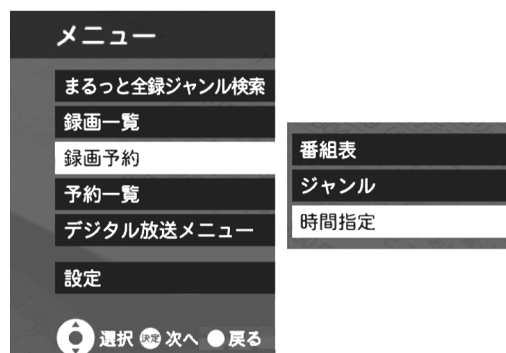
1. 本ページに記載の手順で録画予約を行います。
2. 視聴画面表示時にリモコンの [予約] ボタンを押し、予約番組一覧を表示させます。
3. 変更したい予約を選択し、[決定] ボタンを押します。
4. 予約日を選択し、リモコンの左ボタンを数回押して、毎週予約、毎日予約に変更します。【P.27 】

日時を指定して予約する

日時を指定して予約するときは、次の手順で行います。

1　リモコンの [メニュー] ボタンを押します。

2　表示されたメニューから [録画予約] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

3　[時間指定] を選択し､リモコンの [決定] ボタンを押します。

4　予約日、開始時刻、終了時刻、チャンネルを選択します。

[予約する] を選択し､リモコンの[決定] ボタンを押します。

メモ　毎週予約・毎日予約をしたいときは

[予約日] を選び、リモコンの左ボタンを数回押してください。

5　[はい] を選択し､リモコンの [決定] ボタンを押します。

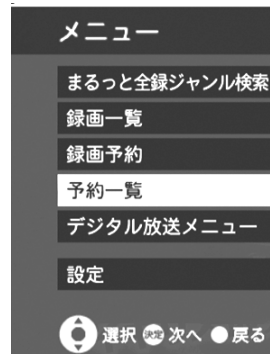
以上で日時を指定しての予約は完了です。

はじめに
まるっと全録を使用する
個別に録画する
本製品の設定
付録

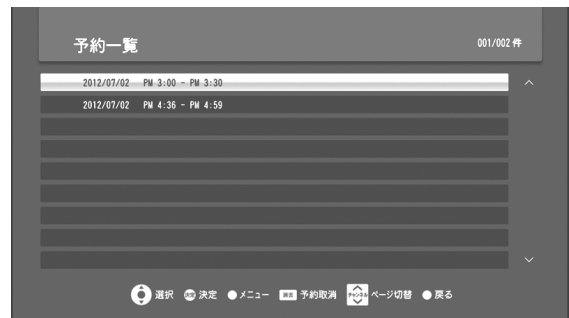
予約を取り消す

予約を取り消すときは、次の手順で行います。

1 リモコンの [メニュー] ボタンを押します。

2 表示されたメニューから [予約一覧] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

3 取り消したい予約を選択し、リモコンの [消去] ボタンを押します。

メモ　リモコンのチャンネル上 / 下ボタンで一覧のページを切り換えることができます。

4 [はい] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

以上で予約の取り消しは完了です。

メモ　**録画予約をまとめて取り消したいときは**

1. 予約番組一覧の画面でリモコンの [メニュー] ボタンを押します。
2. [予約取消] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。
3. 録画予約を取り消したい番組を選択し (複数選択できます)、リモコンの [>>] ボタンを押します。
4. リモコンの [決定] ボタンを押します。
5. [はい] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

メモ　**すべての録画予約を取り消したいときは**

1. 予約番組一覧の画面でリモコンの [メニュー] ボタンを押します。
2. [全件取消] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。
3. [はい] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

録画番組一覧の番組を見る

録画番組一覧の番組は次のように再生します。

1　リモコンの [録画番組一覧] ボタンを押します。
録画番組一覧画面が表示されます。

2　見たい番組を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。
選択した番組が再生できます。
再生を停止したいときは、リモコンの [停止] ボタンを押してください。

メモ
・リモコンのチャンネル上 / 下ボタンで一覧のページを切り換えることができます。
・リモコンの左右キーで表示しているジャンルを切り換えることができます。
・リモコンの [決定] ボタンで番組を選んだ場合、前回停止した位置の続きから再生します。最初から再生したいときは、リモコンの [メニュー] ボタンを押し、[最初から再生する] を選択してください。

以上で再生は完了です。

録画番組一覧の番組再生中のリモコン操作

1. 方向キー

[左] を押すと前の録画番組にスキップします。[右] を押すと次の録画番組にスキップします。

2. 早戻し　早戻しします (7 段階)。

3. 早送り　早送りします (8 段階)。

4. 再生 / 一時停止　一時停止します。もう一度押すと再生します。

5. 10 秒戻し　10 秒早戻しします。

6. 30 秒送り　30 秒早送りします。

7. 停止　再生、早送り、早戻しを停止し、録画番組一覧に戻ります。

外付けハードディスクを増設する

本製品の USB 端子には外付けハードディスクを 1 台増設することができます。詳しくは P.18 をご参照ください。増設すると個別に録画するときの録画先にしたり、録画番組を外付けハードディスクへムーブすることができます。

録画番組を外付けハードディスクへムーブする

録画番組一覧 (内蔵ハードディスク) にある番組を外付けハードディスクにムーブするときは、次の手順で行います。

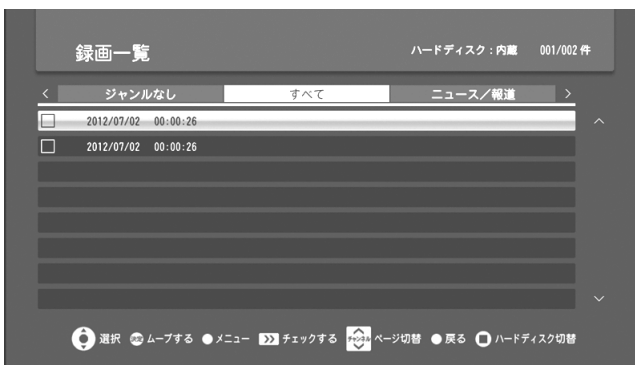
⚠注意 ムーブ中は他の操作をすることができません。

1 リモコンの [録画番組一覧] ボタンを押します。
録画番組一覧画面が表示されます。

2 リモコンの［メニュー］ボタンを押します。

3 [ムーブ] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

メモ 録画番組一覧 (内蔵ハードディスク) にある全ての番組をムーブしたいときは、[全件ムーブ] を選び、リモコンの [決定] ボタンを押してください。

4 ムーブしたい番組を選択し、リモコンの [30 秒送り] ボタンを押します。
選択した番組にチェックマークが表示されます。

5 リモコンの[決定]ボタンを押します。

6 [はい] を選択し､リモコンの［決定］ボタンを押します。
ムーブが開始されます。

⚠注意 ムーブが完了するまでそのままの状態でお待ちください。

- ムーブ中に予約録画が開始されたときは、処理が中止されます。予約録画完了後、未完了の番組のムーブをやり直してください。
- 1 時間の番組のムーブ時間のめやすは、次の通りです。
  低画質：約 2 ～ 4 分　中画質：約 4 ～ 6 分　高画質：約 6 ～ 8 分　個別録画：約 13 ～ 15 分

メモ
- リモコンのチャンネル上 / 下ボタンで一覧のページを切り換えることができます。
- 録画番組一覧でリモコンの [停止] ボタンを押すと外付けハードディスクの録画番組一覧が表示されます。ムーブした番組は外付けハードディスクの録画番組一覧から再生できます。

以上でムーブは完了です。

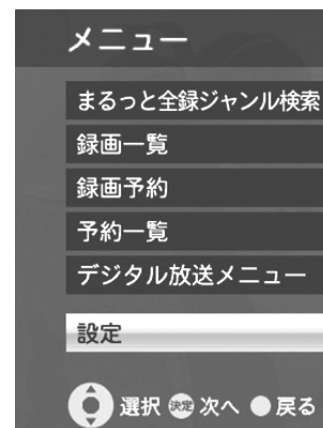
本製品の設定

本製品の設定や各画面のメニューについて説明します。

設定画面の表示方法

次の手順で本製品の設定画面を表示することができます。

1 リモコンの [メニュー] ボタンを押します。

2 表示されたメニューから [設定] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。
設定画面が表示されます。

以上で本製品の設定画面の表示は完了です。

まるっと全録設定

設定画面で [まるっと全録設定] を選択することで表示することができます。

設定項目	内容
まるっと全録ダビング	まるっと全録で録画した番組を番組表から選択し、一括してダビングします。
まるっと全録開始 (まるっと全録停止中の表示)	まるっと全録での録画を開始します。
まるっと全録停止 (まるっと全録実行中の表示)	まるっと全録での録画を停止します。
録画チャンネル選択	まるっと全録で録画するチャンネルを選択します。 最大 8 つのチャンネルを選択することができます。番号を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押すとチャンネルを選ぶことができます。
録画画質設定	まるっと全録で録画する画質を選択することができます。 **高画質:**約 6 Mbps です。8 チャンネルを録画する場合、2.7 日間 (64 時間) 分録画することができます。 **標準画質：**約 4 Mbps です。8 チャンネルを録画する場合、4 日間分録画することができます。 **低画質：**約 2 Mbps です。8 チャンネルを録画する場合、8 日間分録画することができます。

はじめに
まるっと全録を使用する
個別に録画する
本製品の設定
付録

チャンネル設定

設定画面で [チャンネル設定] を選択することで表示することができます。

設定項目	内容
チャンネルスキャン	チャンネルを再検索し、見つかったチャンネルを登録します。 録画中はチャンネルスキャンは行えません。 チャンネルスキャンを実行すると、まるっと全録で録画した番組はすべて消去されます。実行する前に大切な番組は内蔵ハードディスクまたは外付けハードディスクにダビングしてください。
リモコン割当設定	リモコンの数字ボタンに割り当てるチャンネルを指定します。 録画中は設定できません。 まるっと全録で割り当てているチャンネルのみリモコンの数字ボタンに割り当てることができます。 リモコン割当設定を行うと、まるっと全録で録画した番組ははすべて消去されます。設定を行う前に大切な番組は内蔵ハードディスクまたは外付けハードディスクにダビングしてください。
アンテナレベル	各チャンネルの電波状態を確認します。チャンネル上下ボタンでアンテナレベルを確認するチャンネルを選択します。 個別録画中の場合、録画中のチャンネル以外のアンテナレベルは表示できません。 ・アンテナレベルが 60 未満のときは、正常に視聴できないことがあります。アンテナの向きや設置する位置を調整するか、別売のブースター (増幅器) またはアッテネーター (減衰器) を用意し、チューナーとアンテナの間に接続して信号レベルを調整してください。 ・アンテナレベルが 60 以上の場合、実際のアンテナレベルよりも数値が大きく表示されることがあります。

機器設定

設定画面で [機器設定] を選択することで表示することができます。

設定項目	内容
録画先設定	優先して録画するハードディスクを「内蔵ハードディスク」「外付けハードディスク」から設定します。外付けハードディスクが未接続の場合は、内蔵ハードディスクに録画します。 個別録画中は録画先の設定を変更することはできません。
外付けハードディスクの取り外し	外付けハードディスクを取り外すときは、あらかじめ [外付けハードディスクの取り外し] で取り外し処理をしてから取り外してください。
録画可能時間	内蔵と外付けハードディスクの情報 (録画可能容量、録画可能時間) を表示します。 内蔵ハードディスクの録画可能時間は、個別録画およびダビングに使用できる時間です。
機器情報表示	本製品に搭載されているソフトウェアのバージョン番号が画面右上に表示されます。本製品にセットされている mini B-CAS カードの情報が画面中央に表示されます。
無操作電源オフ設定	有効にすると、何も操作しないで 5 時間経過すると待機状態に移行します。 個別録画および再生中は、無線操作電源オフ設定が有効でも待機状態に移行しません。

お知らせ

設定画面で [お知らせ] を選択することで表示することができます。

設定項目	内容
お知らせ	放送局や本製品からのお知らせがあった際に表示します。

初期化

設定画面で [初期化] を選択することで表示することができます。

⚠注意 **初期化中は絶対に AC アダプターを取り外さないでください。初期化中に取り外すとハードディスクが故障することがあります。**

設定項目	内容
内蔵ハードディスク	内蔵ハードディスクを初期化します。 内蔵ハードディスク内の録画番組はすべて消去されますのでご注意ください。
外付けハードディスク	外付けハードディスクを初期化します。 外付けハードディスク内の録画番組はすべて消去されますのでご注意ください。
設定初期化	本製品の設定を工場出荷時の状態に戻します。
内蔵ハードディスク 完全初期化	内蔵ハードディスクのデータを完全に消去します。本製品を廃棄する際にお使いください。完全初期化には 10 時間程度の時間が必要です。
外付けハードディスク 完全初期化	外付けハードディスクのデータを完全に消去します。外付けハードディスクを廃棄する際にお使いください。完全初期化には 1TB で約 5 時間かかります。

ソフトウェアの更新

設定画面で [ソフトウェアの更新] を選択することで表示することができます。

設定項目	内容
ソフトウェアの更新	本製品のソフトウェアをインターネット経由で更新をすることができます。【P.37 】
ネットワーク設定	本製品の IP アドレスを「自動 (DHCP)」にするか「手動」にするか設定します。通常は「自動 (DHCP)」を選択してください。手動の場合、IP アドレス、サブネットマスク、優先 DNS サーバー、代替 DNS サーバー、ゲートウェイを固定設定することができます。

メニュー

視聴画面でリモコンの [メニュー] ボタンを押すことで表示することができます。

設定項目	内容
まるっと全録ジャンル検索	まるっと全録で録画した番組をジャンルから検索して一覧表示します。
録画一覧	ダビング / ムーブした番組や個別に録画した録画番組を一覧表示します。
録画予約	**番組表：**番組表から予約します。 **ジャンル：**番組ジャンルから番組を検索して予約します。 **時間指定：**日時を指定して予約します。
予約一覧	現在の個別に録画する予約を一覧表示します。
デジタル放送メニュー	**字幕：**字幕の設定を「字幕オフ」「日本語」「英語」から選択します。字幕に対応していない番組では字幕は表示されません。 **音声切換：**音声を「第一音声：主」「第一音声：副」「第一音声：主 + 副」「第二音声：主」「第二音声：副」「第二音声：主 + 副」から選択します。 ・番組で放送している音声のみ切り換えることができます。 ・モノラル放送、ステレオ放送、サラウンド放送の場合、「第一音声：主」と表示され、切り換えることができません。 **文字スーパー：**文字スーパー (放送内容と関係のないニュースや天気予報といった文字データ) の表示を「オフ」「日本語」から選択します。
設定	本製品の設定画面を表示します。

予約メニュー

予約番組一覧でリモコンの [メニュー] ボタンを押すことで表示することができます。

設定項目	内容
予約取消	チェックボックスでチェックした予約を取り消します。
全件取消	予約番組一覧にある予約をすべて取り消します。
番組表表示	番組表を表示します。
ハードディスク情報表示	内蔵ハードディスク、外付けハードディスクに録画できる時間を表示します。

録画メニュー

録画番組一覧でリモコンの [メニュー] ボタンを押すことで表示することができます。

設定項目	内容
最初から再生する	選択している録画番組を最初から再生します。
消去	録画番組を選択して消去します。
全件消去	録画番組一覧にある録画番組をすべて消去します。
保護 / 解除	選択している録画番組を消去できないように保護します。 保護された録画番組を選択して、[保護 / 解除] を選択すると保護を解除します。
ムーブ	録画番組を選択して外付けハードディスクへムーブします。 ※外付けハードディスクの録画番組一覧では本項目は表示されません。
全件ムーブ	録画番組一覧にある録画番組をすべて外付けハードディスクへムーブします。 ※外付けハードディスクの録画番組一覧では本項目は表示されません。
絞り込み設定	録画番組一覧に表示する番組を日付、ジャンル、チャンネルの条件で絞り込んで表示することができます。

付録

ソフトウェアの更新方法、困ったときの対処方法、製品仕様ついて説明します。

ソフトウェアの更新方法

本製品のソフトウェアを更新するときは、次の手順で行います。

⚠注意
- **更新中は、本製品の電源を切らないでください。また、ボタン操作も行わないでください。更新は５～10分で完了します。**
- **リモコンの [メニュー] ボタンを押し、[設定] → [機器設定] → [機器情報表示] を選択すると、画面の右上に本製品に搭載されているソフトウェアのバージョン番号が表示されます。**
- **ソフトウェアの更新開始時に「ソフトウェアのアップデートを行うと、まるっと全録で録画した番組が消去されます。」と画面に表示された場合は更新する前に大切な番組は内蔵ハードディスクまたは外付けハードディスクにダビングしてください。**

USB メモリーで更新する

USB メモリーでソフトウェアを更新する場合、次の手順で行います。

1 当社ホームページ (buffalo.jp) から本製品のソフトウェアをダウンロードし、USB メモリーに保存します。

2 USB メモリーを本製品背面の USB 端子に差し込みます。

3 ソフトウェアの更新が開始されます。

4 更新完了後、自動的に本製品が再起動します。

メモ 再起動後に USB メモリーを取り外してください。

以上で本製品のソフトウェアの更新は完了です。

ネットワーク経由で更新する

ネットワーク経由でソフトウェアを更新する場合、次の手順で行います。

⚠注意 **ソフトウェアを更新するには､LAN ケーブルで本製品をインターネットに接続された機器 (ルーター / ハブ) に接続する必要があります。LAN ケーブルを別途ご用意ください。**

1 リモコンの [メニュー] ボタンを押します。

2 表示されたメニューから [設定] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。
設定画面が表示されます。

3 [ソフトウェアの更新] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

4 [ソフトウェアの更新] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

5 ソフトウェアの更新が開始されます。

メモ 更新完了後、自動的に本製品が再起動します。

以上で本製品のソフトウェアの更新は完了です。

困ったときは

リモコンが操作できない

リモコンの [戻る] ボタンを押しながら [12] ボタンを 2 回押さないでください。

本製品をリモコンで操作できなくなります。
このようなときは、[戻る] ボタンを押しながら [11] ボタンを 2 回押してください。
リモコンの 電源 ボタン押すことで本製品の電源ランプが赤色点灯、緑色点灯 (または黄色点灯) に切り換えることができれば正常に動作しています。

原因①：
電池が入っていない / 電池が消耗している。
対策①：
新しい電池をリモコンに入れてください。

原因②：
電池の入れ方が間違っている。
対策②：
別紙「らくらく！セットアップシート」を参照して、電池を正しい向きで入れてください。

リモコンでテレビが操作できない

原因①：
リモコンの設定をしていない / 本製品を他のテレビに接続した / リモコンの戻るボタンと数字ボタンを同時に押してリモコンの設定が変更されてしまった。

対策①：
別紙「らくらく！セットアップシート」を参照して、再度リモコンの設定をしてください。

原因②：
リモコンを本製品に向けている。
対策②：
リモコンはテレビに向けて操作してください。

リモコンで本製品が操作できない

原因①：
リモコンと本製品の間に障害物がある / リモコンから本製品の距離が離れすぎている。
対策①：
障害物をなくし、本製品に近づけて操作してください。

電源が入らない

原因①：
電源ケーブルが外れている。
対策①：

電源ケーブルをコンセントおよび本製品に接続してください。

原因②：
電源タップの電源が OFF になっている。
対策②：
電源タップの電源を ON にしてください。

番組視聴時、タイムシフト再生時、個別録画番組の再生時に画面が乱れるまたは途切れる

原因①：
電波が弱すぎる / 強すぎる場合、映像が正常に表示されません。
対策①：
リモコンの [メニュー] ボタンを押し、[設定] → [チャンネル設定] → [アンテナレベル] 画面で正常に視聴できないチャンネルの受信レベルをご確認ください。

アンテナレベルが 60 未満のときは、アンテナの向きや設置する位置を調整するか、別売のブースター (増幅器) またはアッテネーター (減衰器) を用意し、チューナーとアンテナの間に接続して信号レベルを調整してください。

チャンネルスキャンでチャンネルが見つからない

原因①：
アンテナケーブルの接続が間違っている。
対策①：
別紙「らくらく！セットアップシート」を参照して、アンテナケーブルを接続し直してください。

「予期しない電源の切断があったため、まるっと全録は停止しました」と表示されている

原因①：
停電や電源切断後、10 時間以上経過すると、上記メッセージが画面に表示されます。
対策①：
まるっと全録停止後 10 時間以上経過すると、まるっと全録再開時に、まるっと全録で録画していた過去の番組が消去されます。まるっと全録で録画していた大切な番組は、内蔵ハードディスクまたは外付けハードディスクへダビングしてからまるっと全録を再開してください。

映像や音声が出ない

原因①：
テレビとの接続が間違っている。
対策①：
別紙「らくらく！セットアップシート」を参照して、接続し直してください。

原因②：
テレビの入力切換が正しく選択されていない。
対策②：
テレビの入力を「ビデオ」にするなど、本製品を接続した入力を選択してください。

原因③：
テレビのミュート (消音) が有効になっている。
対策③：
リモコンの [消音] ボタンを押して消音機能を無効にしてください。テレビの消音機能を無効にする手順はテレビに付属のマニュアルを参照ください。

映像が正しく表示されない

原因①：
ビデオ機器を経由させて接続している。
対策①：
本製品にはコピープロテクション機能が搭載されており、ビデオ機器を経由させると再生映像が乱れる場合があります。再生映像が乱れる場合は、テレビに直接接続してください。

原因②：
ビデオ機能を搭載したテレビに接続している。
対策②：
本製品にはコピープロテクション機能が搭載されており、ビデオ機能を搭載したテレビに接続すると再生映像が乱れる場合があります。再生映像が乱れる場合は、ビデオ機能が搭載されていないテレビと接続してください。

テレビで見たとき端 (外周部) の映像がカットされている、映像がずれている

一般的にテレビは映像信号の外周部を少しカットして表示するオーバースキャン表示方式を使用しています。テレビによってカットする量に差があり、テレビによっては映像の端 (外周部) がカットされて見えたり、左右または上下にずれて見えることがあります。

録画できない

原因①：
増設した録画用外付けハードディスクの CD ドライブ変更スイッチが仮想 CD/DVD ドライブに設定されていた
対策①：
CD ドライブモード変更スイッチの搭載されたハードディスクを接続する場合には、必ず CD ドライブモード変更スイッチの設定を「OFF」にしてご使用ください。
原因②：
外付けハードディスクが初期化されていない
対策②：
外付けハードディスクを接続した場合、本製品の設定画面で初期化してください。【P.18 】
原因③：
ハードディスクの空き容量がない
対策③：
録画番組またはそれ以外のデータを削除し、空き容量を確保してください。
内蔵ハードディスクの場合、番組を外付けハードディスクにムーブすることでも空き容量を確保できます。

ケーブルテレビのパススルー方式・トランスモジュレーション方式に対応していますか

パススルー方式のみ対応しています。ご利用のケーブルテレビがパススルー方式 (*1) に対応しているかどうかは、CATV 事業者へ確認してください。
トランスモジュレーション方式には対応していません。
*1　同一周波数パススルー方式、周波数変換パススルー方式ともに対応

ハードディスクに録画できる時間のめやすについて知りたい

ハードディスクの録画可能時間は、リモコンの [メニュー] ボタンを押し、[設定] → [機器設定] → [録画可能時間] を選択した画面で確認できます。

2 台以上ハードディスクを接続することはできますか

本製品の USB 端子に接続して使用できるハードディスクは 1 台です。
2 台以上のハードディスクを同時接続して使用することはできません。2 台以上のハードディスクを使用するときは、1 台ずつつなぎ換えてお使いください。

仕様

メモ　最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）を参照してください。

チューナー	
受信チャンネル	地上デジタル放送：1 ch ～ 62 ch、C13 ch ～ C63 ch
アンテナ入力	F 型コネクター (入力インピーダンス 75 Ω)
対応機能	ハイビジョン出力、CATV パススルー、字幕放送、番組表（EPG）
LAN インターフェース	
対応規格	IEEE802.3/IEEE802.3u 準拠 （10BASE-T/100-BASE-TX）
転送速度	10/100 Mbps（オートセンス）
コネクター形状	RJ-45 型 8 極コネクター
外部出力 / 入力	
アナログ映像端子	RCA ピンジャック（黄）
HDMI 端子	HDMI コネクター
アナログ音声端子	R：RCA ピンジャック（赤）　L：RCA ピンジャック（白）
デジタル音声端子	光角型
USB 規格	Universal Serial Bus Revision 2.0/1.1
USB 端子	シリーズ A(背面× 1)
その他	
使用電源	AC100V　50/60 Hz
消費電力	最大 35W
動作環境	温度：5 ～ 35 ℃、湿度：20 ～ 80 %（結露なきこと）
外形寸法	430(W)x50(H)x220(D) mm（突起物を含まず）
本体重量	約 2.7 kg
対応テレビ	ワイド表示 (縦横比 16:9) が可能なテレビ

ハードディスクの破棄・譲渡・交換・修理時の注意

「削除」や「フォーマット」したハードディスク上のデータは､完全には消去されていません。お客様が、廃棄・譲渡・交換・修理等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。
万一、お客様の個人データが漏洩しトラブルが発生したとしましても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
詳しくは、http://buffalo.melcoinc.co.jp/support_s/hddata.html をご覧ください。
本製品のデータを完全消去するには、本製品の完全初期化機能 (※) を使用するか、専門業者に完全消去作業を依頼することをおすすめします。

※本製品の設定画面で [初期化] → [内蔵ハードディスク完全初期化] → [はい] を選択してください。
本製品内蔵ハードディスクのデータを完全に初期化します。

「設定がうまくいかない」、「故障かな？」と思ったら

サポートセンターのご案内

本製品に関するお問合せはサポートセンターで受け付けています。

● お問合せの際は、まず、当社サポートページをご確認ください。
お客様からお寄せいただいたお問合せを元にした、ピックアップ Q&A やよくある質問をご紹介しております。機種や症状別に参照することも可能です。ぜひご覧ください。

PC ハローバッファロー **86886.jp** (http://www 不要)　ハローバッファロー 86886.jp 検索

● **インターネット (E メール)：** ※お問合せフォームからご質問いただけます。

個人のお客様 PC ハローバッファロー **86886.jp/mail/** (http://www 不要)

法人のお客様 PC ハローバッファロー **86886.jp/hojin/** (http://www 不要)

● **電話：** お問合せの際には、あらかじめ下記の項目をご確認ください。よりスムーズに回答することが可能です。1, ご使用の当社製品名　2, パソコンの型番　3,OS のバージョン　4, トラブルの内容をお知らせください。

受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。
詳細は当社ホームページ（86886.jp）をご覧ください。

個人のお客様窓口 **050ー3163ー1825**
9:30～19:00 (日曜日、夏期休暇、年末年始、法定点検日を除く)

法人のお客様窓口 **050ー3163ー2000**
9:30～12:00　13:00～17:00 (土日祝日、夏期休暇、年末年始、法定点検日を除く)

修理のご案内

万が一、製品が故障した場合は、下記のサイトより「インターネット修理予約システムで申込む」をご利用いただき、商品を当社修理センターまでご送付ください。事前に修理を予約いただくことで、修理期間の短縮や修理状況の確認を行うことが可能です。

PC ハローバッファロー **86886.jp/shuri/** (http://www 不要)

携帯電話で修理品の送付先を確認することができます。
右のバーコードを携帯電話で読み取ってください。

ユーザー登録のご案内・添付品の販売 (備品販売窓口)

ユーザー登録　PC ハローバッファロー **86886.jp/user/** (http://www 不要)

ダウンロードの代行サービス (有料)　PC ハローバッファロー **86886.jp/bihin/** (http://www 不要)

AC アダプター、ケーブル、その他付属品

PC **http://www.buffalo-direct.com**　バッファローダイレクト 検索

コミュニティサイト

●お客様サポートホームページ上において、パソコンや周辺機器の疑問・質問を書き込み、知っている人が答えて解決するコミュニティサイト『ZQwoonetSAK2（サクサク)』をご用意させていただいております。ぜひご利用ください。

http://www.zqwoo.jp/sak?foo=bar　サクサク SAK2 検索

※We provide technical and customer support only to Japanese OS.
We provide technical and customer support only in Japanese language.
We provide technical and customer support only for use in Japan.

当社へご提供の個人情報は次の目的のみに使用し、お客様の同意なく第三者への開示は致しません。
・お問合せに関する連絡・製品向上の為のアンケート（サポートセンター）・添付品の販売業務（備品販売窓口）
・製品返送/詳細症状の確認/見積確認/品質向上の為の返送後の動作状況確認（修理センター）